

平成24年度

大空町教育委員会の活動状況に
関する点検・評価報告書

平成25年9月

大空町教育委員会

は じ め に

～ 事務の点検・評価の意義及び取組について ～

今日、教育を取り巻く環境がめまぐるしく変化する中で、教育委員会においては、責任体制の明確化や体制の充実を図り、教育行政の中心的な担い手としてその役割を果たしていくことが求められております。

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが義務付けられました。

このことを受け、大空町教育委員会としては、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民の皆様への説明責任を果たすため、教育委員会の事務の管理・執行状況について、毎年度、点検・評価を行い、報告書を作成し平成20年度分から公表しております。

本年度は、平成24年度に教育委員会が行った活動状況や、大空町教育推進計画の実施状況について、点検・評価を行い、成果や課題と課題解決に向けた取組の方向性を分かりやすく記述しました。

今後とも『北海道教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書』を参考に、点検・評価の実施方法及び報告書の様式について改善・充実を図りながら、先に策定しました「大空町教育推進計画」に基づく教育施策の着実な推進に努めてまいりたいと考えていますので、町民の皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成25年9月

大空町教育委員会

目 次

第1部 教育委員会の活動状況

1	教育委員	1
2	教育委員会の会議等の開催状況	1
	(1) 教育委員会会議と付議された案件等	1
	(2) 教育委員会協議会の開催状況	6
3	条例・規則等の制定、計画等の策定状況	7
	(1) 条例・規則・要綱・要領	7
	(2) 主な計画等の策定状況	8
4	教育委員会委員の活動状況	8
5	教育関係機関等の活動状況	9
6	学校に対する指導・助言・指示等の状況	10
	(1) 通知・通達等	10
	(2) 校長会議及び教頭会議における示達等	10
7	町民に対する情報提供	13
8	平成24年度教育関係予算の最終状況	14
9	平成24年度教育関係予算の主な事業に係る最終予算	15

第2部 学校教育活動に係る反省・評価

1	平成24年度大空町教育推進方針に係る反省・評価	18
2	各幼稚園・各小中高等学校における反省・評価	21

第3部 社会教育活動に係る反省・評価

1	平成24年度大空町教育推進方針に係る反省・評価	22
2	平成24年度社会教育推進計画に係る反省・評価	24

第1部 教育委員会の活動状況

1 教育委員

大空町は、平成18年3月31日に旧女満別町と旧東藻琴村が合併して誕生しました。「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の附則第8条で、最初に任命される委員の任期は、「定数が5名の場合は、二人が4年、一人が3年、一人が2年、一人が1年とする。この場合において、各新委員の任期は、地方公共団体の長が定める。」とされていることから、下記の表の任期となっている。

役 職	委 員 名	任 期	期
委 員 長	相 馬 隆	平成23年12月26日～25年6月11日	I 期
委 員 長 職務代理者	丹 羽 早 苗	平成19年6月12日～22年6月11日 平成22年6月12日～26年6月11日	I 期 II 期
委 員	福 田 淳 一	平成23年6月12日～27年6月11日	I 期
委 員	神 田 靖 治	平成24年6月12日～28年6月11日	I 期
委員(教育長)	渡 邊 國 夫	平成22年6月12日～26年6月11日	I 期

*相馬委員は、前任者が任期途中で退任されたため、残任期間（I期）となった。

*丹羽委員は、前任者が任期途中で退任されたため、残任期間（I期）となった。

2 教育委員会の会議等の開催状況

(1) 教育委員会会議と付議された案件等

教育委員会会議は、原則として公開であるが、個人情報に係る場合は非公開としている。また、会議は毎月1回を定例としているが、急な案件がある場合は随時開催している。

*回数は年度初めの4月から年度末の3月までの開催回数を表記

回数	開催年月日	出席数	開催場所	付議案件（報告、議案、その他）	公開別	結果
第1回	平成24年 4月13日	5名	大空町役場 2階 1号会議室			
				〔議案〕 ・大空町社会教育委員の委嘱について ・大空町スポーツ推進委員の委嘱について	公開 公開	議決 議決
第2回	平成24年 5月29日	5名	女満別研修会館第2会議室			
				〔報告〕 ・女満別小学校建設工事（旧校舎解体）請負契約の締結について 〔議案〕 ・大空町立学校評議員の委嘱について ・大空町学校給食センター運営委員会委員の解嘱について ・大空町学校給食センター運営委員会委員の委嘱について ・平成24年度大空町教育推進方針について ・平成24年度大空町教育委員会事務局の経営方針について ・準要保護児童生徒の認定について ・幼稚園保育料及び預かり保育所保育料の減免に係る準要保護世帯の認定について ・奨学金の貸付について	公開 公開 公開 公開 公開 非公開 非公開 非公開	議決 議決 議決 議決 議決 議決 議決
第3回	平成24年 6月12日	5名	女満別研修会館第2会議室			
				〔議案〕 ・平成24年度大空町社会教育推進計画について ・大空町北海道女満別高等学校野球部甲子園出場協賛会事業補助金交付要綱を廃止する告示の制定について ・大空町入学資金借入金利子等助成要綱の制定について ・平成24年度大空町一般会計補正予算（第1号）のうち教育委員会関係補正予算（第1号）について	公開 公開 公開 公開	議決 議決 議決 議決
第4回	平成24年 7月10日	5名	女満別研修会館第2会議室			
				〔議案〕 ・奨学金の貸付について	非公開	議決
第5回	平成24年 7月25日	5名	東藻琴総合支所委員会室			
				〔報告〕 ・東藻琴中学校大規模改修工事請負契約の締結について ・東藻琴高等学校管理備品の購入について 〔議案〕 ・大空町教育委員会事務局職員の任免について ・大空町学校給食センター運営委員会委員の委嘱について ・大空町図書館協議会委員の任命について	公開 公開 公開 公開 公開	議決 議決 議決 議決 議決

<ul style="list-style-type: none"> ・大空町立学校管理に関する規則の一部を改正する規則制定について ・幼稚園保育料及び預かり保育所保育料の減免に係る準要保護世帯の認定について 				公開 非公開	議決 議決
第6回	平成24年 8月29日	5名	大空町役場 2階 1号会議室		
[報告] <ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度北海道東藻琴高等学校において使用する教科用図書について 				公開	議決
[議案] <ul style="list-style-type: none"> ・大空町文化財保護審議会委員の委嘱について ・平成25年度に使用する小学校及び中学校用教科用図書並びに平成25年度使用教科用図書のうち学校教育法附則第9条に規定する教科用図書の採択について 				公開 公開	議決 議決
第7回	平成24年 9月12日	5名	東藻琴総合支所委員会室		
[議案] <ul style="list-style-type: none"> ・大空町高等学校生徒寄宿受入補助金交付要綱の制定について ・準要保護児童生徒の認定について ・幼稚園保育料及び預かり保育所保育料の減免に係る準要保護世帯の認定について ・平成24年度大空町一般会計補正予算（第2号）のうち教育委員会関係補正予算（第2号）について ・平成23年度大空町教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書について 				公開 非公開 非公開 公開 公開	議決 議決 議決 議決 議決
第8回	平成24年10月22日	5名	東藻琴総合支所委員会室		
[報告] <ul style="list-style-type: none"> ・大空町学校給食センター管理備品の購入について 				公開	議決
[議案] <ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度大空町一般会計補正予算（第3号）のうち教育委員会関係補正予算（第3号）について 				公開	議決
第9回	平成24年11月26日	5名	東藻琴総合支所委員会室		
[議案] <ul style="list-style-type: none"> ・大空町山園ふるさとセンター条例の一部を改正する条例制定について ・準要保護児童生徒の認定について 				公開 非公開	議決 議決

第10回	平成24年12月10日	5名	女満別研修会館第2会議室		
〔報告〕 ・女満別高等学校生徒寄宿舎建設工事請負契約の締結について 公開 議決 〔議案〕 ・大空町社会教育委員の解嘱について 公開 議決 ・大空町社会教育委員の委嘱について 公開 議決 ・使用料改正に伴う社会教育施設関係条例の一部を改正する条例制定について 公開 議決 ・平成24年度大空町一般会計補正予算（第5号）のうち教育委員会関係補正予算（第4号）について 公開 議決					
第11回	平成25年 1月18日	5名	大空町役場3階2号会議室		
〔報告〕 ・指定管理者の指定について 公開 議決 ・指定管理者の指定について 公開 議決 ・指定管理者の指定について 公開 議決 〔議案〕 ・大空町学校医の解嘱について 公開 議決 ・大空町学校医の委嘱について 公開 議決 ・大空町就学指導委員会委員の解嘱について 公開 議決 ・大空町就学指導委員会委員の委嘱について 公開 議決 ・大空町入学資金借入金利子等助成の認定について 非公開 議決 ・大空町名木・古木指定要綱の制定について 公開 議決					
第12回	平成25年 2月18日	5名	東藻琴総合支所委員会室		
〔議案〕 ・学校職員の事故報告書に係る教育委員会の処分内申について 非公開 議決					
第13回	平成25年 2月25日	5名	東藻琴総合支所第1会議室		
〔報告〕 ・平成25年度大空町立小学校入学及び特別支援学級入級に係る児童・生徒の就学について 公開 議決 〔議案〕 ・大空町女満別高等学校生徒寄宿舎条例制定について 公開 議決 ・大空町女満別高等学校生徒寄宿舎条例施行規則制定について 公開 議決 ・北海道東藻琴高等学校寄宿舎条例施行規則の一部を改正する規則制定について 公開 議決 ・大空町立学校フッ化物洗口事業実施要領の制定について 公開 議決 ・準要保護児童生徒の認定について 非公開 議決 ・平成24年度大空町一般会計補正予算（第7号）のうち教育費関係補正予算（第5号）について 公開 議決 ・平成25年度大空町一般会計予算のうち教育費関係予算について 公開 議決					

第14回	平成25年 3月27日	4名	女満別研修会館第2会議室		
〔議案〕					
・学校職員人事異動の内申について				公 開	議決
・大空町就学指導委員会委員の解嘱について				公 開	議決
・大空町就学指導委員会委員の委嘱について				公 開	議決
・大空町学校給食センター運営委員会委員の解嘱について				公 開	議決
・大空町学校給食センター運営委員会委員の委嘱について				公 開	議決
・大空町スポーツ推進委員の解嘱について				公 開	議決
・大空町スポーツ推進委員の委嘱について				公 開	議決
・平成25年度特別支援学級入級に係る生徒の就学認定について				非公開	議決
・大空町入学資金借入金利子等助成の認定について				非公開	議決
・平成25年度学校給食費の額の決定について				公 開	議決
・大空町東藻琴公民館条例施行規則等の一部を改正する規則制定について				公 開	議決
・大空町教育委員会事務局職員の任免について				公 開	議決

(2) 教育委員会協議会の開催状況

教育委員会協議会は、委員各位の自由な意見交換の場として、必要に応じて非公開で開催している。

回数	開催年月日	開催場所	出席数	公開別
1	平成24年 4月13日	大空町役場2階1号会議室	5名	非公開
	〔協議題〕・北海道女満別高等学校の2間口復活に係る要望活動及び要望者（案）について			
2	平成24年 5月29日	女満別研修会館第2会議室	5名	非公開
	〔協議題〕・大空町入学資金借入金利子等助成事業について			
3	平成24年 7月25日	東藻琴総合支所委員会室	5名	非公開
	〔協議題〕・大空町内の高等学校における生徒確保対策について ・豊住小学校跡地利用計画について			
4	平成24年 9月12日	東藻琴総合支所委員会室	5名	非公開
	〔協議題〕・大空町高等学校生徒確保対策「寄宿舎整備事業」について			
5	平成24年11月26日	東藻琴総合支所委員会室	5名	非公開
	〔協議題〕・大空町児童生徒指導連絡協議会の設置について			
6	平成25年 1月18日	大空町役場3階2号会議室	5名	非公開
	〔協議題〕・大空町立小学校フッ化物洗口事業実施について			

3 条例・規則等の制定、計画等の策定状況

平成24年度中に制定された条例は14、規則は8、要綱等は4である。

(1) 条例・規則・要綱・要領

類別	題名	公布年月日	施行年月日
条例	・大空町山園ふるさとセンター条例の一部を改正する条例	24・12・20	25・4・1
	・大空町東藻琴公民館条例の一部を改正する条例	24・12・20	25・4・1
	・大空町図書館条例の一部を改正する条例	24・12・20	25・4・1
	・大空町女満別研修会館条例の一部を改正する条例	24・12・20	25・4・1
	・大空町女満別伝承館条例の一部を改正する条例	24・12・20	25・4・1
	・大空町女満別武道館条例の一部を改正する条例	24・12・20	25・4・1
	・大空町女満別ゲートボールセンター条例の一部を改正する条例	24・12・20	25・4・1
	・大空町東藻琴生涯学習センター条例の一部を改正する条例	24・12・20	25・4・1
	・大空町体育施設条例の一部を改正する条例	24・12・20	25・4・1
	・大空町B&G海洋センター条例の一部を改正する条例	24・12・20	25・4・1
	・大空町女満別屋外ゲートボール場条例の一部を改正する条例	24・12・20	25・4・1
	・大空町屋内ゲートボール場すぱーく東藻琴条例の一部を改正する条例	24・12・20	25・4・1
	・大空町東藻琴農村環境改善センター条例の一部を改正する条例	24・12・20	25・4・1
	・大空町女満別高等学校生徒寄宿舎条例	25・3・14	25・4・1
規則	・大空町立学校管理規則の一部を改正する規則	24・7・27	24・7・27
	・大空町女満別高等学校生徒寄宿舎条例施行規則	25・3・14	25・4・1
	・北海道東藻琴高等学校寄宿舎条例施行規則の一部を改正する規則	25・3・27	25・4・1
	・大空町東藻琴農村環境改善センター条例施行規則の一部を改正する規則	25・3・27	25・4・1
	・大空町東藻琴公民館条例施行規則の一部を改正する規則	25・3・27	25・4・1
	・大空町図書館条例施行規則の一部を改正する規則	25・3・27	25・4・1
	・大空町女満別研修会館条例施行規則の一部を改正する規則	25・3・27	25・4・1
	・大空町女満別伝承館条例施行規則の一部を改正する規則	25・3・27	25・4・1
告示	・大空町入学資金借入金利子等助成要綱	24・6・19	24・6・19
	・大空町高等学校生徒寄宿舎受入補助金交付要綱	24・9・20	24・9・20
	・大空町名木・古木指定要綱	25・1・21	25・1・21
訓令	・大空町立学校フッ化物洗口事業実施要領	25・2・26	25・4・1

(2) 主な計画等の策定状況

年月日	計 画 等 名
21. 3. 30	大空町教育推進計画（平成21～28年度）
24. 5. 29	平成24年度大空町教育推進方針
24. 6. 12	平成24年度社会教育推進計画
25. 3. 26	大空町図書館第2期5ヶ年計画（平成25～29年度）
25. 3. 26	大空町第2次子どもの読書活動推進計画（平成25～29年度）

4 教育委員会委員の活動状況

教育委員会委員は、教育委員の定例会議や協議会のほか、オホーツク管内及び網走ブロック教育委員会協議会の総会・研修会、町内の各幼稚園や各小中高等学校の入学式・卒業式への参列、学校視察などの活動をしている。

このほか教育委員長は、毎回の定例町議会に出席している。

開催年月日	開催場所	出席委員数	備 考
平成24年 4月 2日	東藻琴農村環境改センター	5名	学校職員辞令交付式
平成24年 4月 5日 ～ 平成24年 4月10日	各幼稚園・各学校	5名	各幼稚園・各小中高等学校の入学式へ参列
平成24年 4月13日	町 内	5名	大空町教育懇話会
平成24年 5月30日	網走市	教育委員長 教育長	オホーツク管内教育委員会協議会役員会・総会
平成24年 7月 2日	小清水町	5名	網走ブロック教育委員会協議会総会・研修会
平成24年 7月11日	札幌市	5名	北海道市町村教育委員研修会
平成24年12月 6日	網走市	5名	オホーツク管内市町村教育委員大会
平成25年 1月 6日	議事堂文化ホール	5名	大空町成人式
平成25年 1月22日 ～ 平成25年 1月31日	各幼稚園・各学校	5名	各幼稚園・各小中高等学校の視察
平成25年 3月 1日 ～ 平成25年 3月25日	各幼稚園・各学校	5名	各幼稚園・各小中高等学校の卒業式へ参列
平成25年 3月21日	町 内	5名	大空町教育懇話会

5 教育関係機関等の活動状況

条例等の定めに基づいて委嘱又は任命された委員で構成する教育関係機関等においては、様々な活動がなされている。

機 関 名 等	委員数	主な協議事項及び活動内容
大空町社会教育委員会	16	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育委員全体会議（3回） ・平成24年度大空町社会教育計画の策定と反省評価 ・各種社会教育事業への参画・観察 ・自主研修事業の実施
大空町就学指導委員会	12	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学級入級並びに特別支援学校入学に係る児童生徒の就学の適正について
大空町学校給食センター運営委員会	12	<ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度大空町学校給食収支決算について ・平成24年度大空町学校給食収支予算について ・大空町学校給食費の決定について
大空町スポーツ推進委員会	20	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度事業計画について ・自主研修について ・各種社会体育事業の主催・支援・協力
大空町青少年健全育成指導員会	12	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度活動計画について ・大空町青少年健全育成町民会議との連携
大空町図書館協議会	5	<ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度大空町図書館事業及び実績報告について ・平成24年度大空町図書館事業計画について ・大空町図書館第2期5ヶ年計画の策定について ・大空町第2次子どもの読書活動推進計画の策定について
大空町青少年問題協議会	16	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年の状況と育成環境について ・青少年の健全育成・指導等について ・青少年健全育成関係機関・団体の取組について
大空町生涯学習奨励員会	20	<ul style="list-style-type: none"> ・町民大学の企画・運営 ・生涯学習情報の提供 ・町民の生涯学習活動支援
大空町学校評議員会	24	<ul style="list-style-type: none"> ・各幼稚園・各小中高等学校の経営計画概要の説明、意見交換 ・各幼稚園、各小中高等学校毎に評議員会を開催
大空町文化財保護審議会	10	<ul style="list-style-type: none"> ・埋蔵文化財包蔵地等について ・大空町指定文化財について

6 学校に対する指導・助言・指示等の状況

学校に対する指導・助言・指示等は、通知・通達等によるほか、定例の校長会議や教頭会議も含めて年間を通して行っている。また、事案の発生等に応じて随時の指導・助言・指示も行っている。

(1) 通知・通達等

年月日	件名
24. 4. 10	教職員が部活動に係る大会等の業務に従事する場合の服務上の取扱いについて
24. 5. 1	「修学旅行の引率業務等に従事する道立学校職員の勤務時間の割振り等に関する要領」の運用について
24. 7. 9	長期休業期間中の教員の勤務管理について
24. 7. 10	教職員の服務規律の保持について
24. 7. 25	「修学旅行の引率業務等に従事する道立学校職員の勤務時間の割振り等に関する要領」及び「北海道学校職員の週休日の振替等に関する振替特例」の取扱いについて
24. 7. 26	教職員健康診査精密検査受診する場合の服務上の取扱いについて
24. 8. 15	いじめの問題に関する児童生徒の実態把握及び学校の取組状況に係る緊急調査について
24. 11. 22	今冬のインフルエンザ総合対策の推進について
24. 11. 27	教職員の選挙運動の禁止等について
24. 12. 4	今冬の学校におけるインフルエンザ総合対策の推進について
24. 12. 10	長期休業期間中の教員の勤務管理について
24. 12. 12	教職員の服務規律の保持について
24. 12. 21	インフルエンザによる学校閉鎖等の報告について
25. 1. 21	体罰の防止について
25. 1. 25	教職員の争議行為について
25. 2. 20	体罰に係る実態把握について
25. 3. 28	体罰の禁止及び児童生徒理解に基づく指導の徹底について

(2) 校長会議及び教頭会議における示達等

校長会議は、各幼稚園、各小中高等学校の園長・校長が参加して毎月1回を定例として開催している。教頭会議は、各小中高等学校の教頭が参加して毎月1回を定例として開催している。両会議の内容は全く同様なので、ここでは校長会議における主な示達内容を掲載する。

開催年月日	主な示達等
24. 4. 2 (第1回)	<ul style="list-style-type: none"> ・学校経営の推進について ・主任の命課について ・平成24年度当初人事異動について ・入学式における国旗・国歌の適正な実施に向けて ・学校危機管理体制について ・法令遵守義務違反者に対する教育長からの指導について

24. 4. 18 (第2回)	<ul style="list-style-type: none"> 平成24年度「大空町学び推進月間・5月（大空町学力・体力向上プラン）の推進について 平成24年度大空町教育推進方針（素案）について 平成24年度大空町教育経営計画書「大空町の教育」の発行について 校内外の教育環境整備について 3月の学校経営報告書の交流について
24. 5. 23 (第3回)	<ul style="list-style-type: none"> 平成24年度学校職員評価の実施について 勤勉手当に係る評定・判定について 学校としての組織的かつ適切な情報発信について 4月の学校経営報告書の交流について
24. 6. 22 (第4回)	<ul style="list-style-type: none"> 新教育委員体制について 教職員の勤勉手当について 平成25年度教頭昇任候補者について 学校施設の適正管理と不審者対策について チャレンジテストの取り組みについて 5月の学校経営報告書の交流について
24. 7. 19 (第5回)	<ul style="list-style-type: none"> 第40回交通安全・第62回社会を明るくする運動大会参加お礼について 教職員の服務規律の保持について 長期休業期間中の教員の勤務管理について 平成25年度教頭昇任候補者について 6月期の教職員の勤勉手当の結果について “チャレンジテスト”夏のトライやるウィークの参加について 6月の学校経営報告書の交流について
24. 8. 21 (第6回)	<ul style="list-style-type: none"> 平成25年度一般教職員当初人事について 平成25年度校長・教頭人事面談の実施について 平成25年度学校職員身上調書（校長・教頭）の提出について 7月の学校経営報告書の交流について
24. 9. 24 (第7回)	<ul style="list-style-type: none"> 平成24年度上半期学校課題解決スケジュールの評価結果及び下半期学校課題解決スケジュールの提出について いじめ問題緊急調査結果について 平成24年度全国学力・学習状況調査結果の活用について 8月の学校経営報告書の交流について
24. 10. 22 (第8回)	<ul style="list-style-type: none"> 平成25年度校長・教頭昇任予定数について 平成25年度当初人事異動について 平成25年度当初人事異動に係る教育長面談の実施について 9月の学校経営報告書の交流について
24. 11. 21 (第9回)	<ul style="list-style-type: none"> 北海道公立学校校務支援システムの導入について 北海道学力向上Webシステムについて フッ化物洗口事業について 平成24年度「大空町学校評価」の実施について 体力向上について 10月の学校経営報告書の交流について

<p>24. 12. 11 (第10回)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の12月期勤勉手当について ・インフルエンザの感染予防の徹底と適時、的確な対応について ・全国学力・学習状況調査結果の活用について ・教職員給与費の適正執行等に関する調査結果等について ・フッ化物洗口事業について ・教育委員の学校視察について ・11月の学校経営報告書の交流について
<p>25. 1. 24 (第11回)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・オホーツク教育局管内公立小中学校教員人事異動実施要項の改正について ・平成25年度一般教職員当初人事について ・オホーツク管内教育実践表彰について ・学力向上の取り組みについて ・国旗・国歌の適切な実施について ・12月の学校経営報告書の交流について
<p>25. 2. 15 (第12回)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員（管理職）の人事について ・平成24年度大空町教育推進方針の評価について ・学校評価の実施について ・1月の学校経営報告書の交流について
<p>25. 3. 18 (第13回)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員評価結果の提出について ・学校評価結果の分析とまとめの提出について ・学校評議員会の開催結果について ・勤勉手当の評定記録について ・平成25年度教職員人事について ・主任等の命課状況の報告について ・平成25年度全国学力・学習状況調査について ・平成25年度外国語活動推進事業について ・入学式の日程について ・転出入に伴う挨拶回りの取り扱いについて ・2月の学校経営報告書の交流について

7 町民に対する情報提供

町民の公益に係る情報や教育委員会の活動に対する理解の促進及び学習情報の提供等に資するため、以下の情報提供を行っている。

(1) 情報の提供

情報誌関係	掲載内容
広報『おおぞら』及び『まちのおしらせ』への掲載	広報『おおぞら』に生涯学習情報「はばたき」欄、『まちのおしらせ』に掲載 <ul style="list-style-type: none"> ・各種社会教育事業の情報 ・社会教育関係団体の情報 ・大空町図書館の情報 ・大空町内高等学校の情報 町民の文芸欄 ・文化公演の案内 ・町民文化祭の案内 ・各種募集案内 随意掲載 <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園児の募集 ・町民大学の案内 ・幼稚園教諭(嘱託を含む)の募集 ・奨学生の募集 ・小学校入学児童の紹介 など

(2) 図書館閲覧

平成24年度大空町教育経営計画書『大空町の教育』（9月発行）	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度大空町教育推進の概要（教育推進方針、主な教育予算及び事業、事務局の組織図及び事務分掌 など） ・平成24年度社会教育推進計画 ・各幼稚園及び各小中高等学校の学校経営の概要 ・生涯学習・スポーツ施設利用案内 ・大空町の教育の歩み ・大空町の各種委員・教育関係団体・施設 など
--------------------------------	--

(3) 郷土資料館閲覧

女満別地区郷土資料台帳	・女満別郷土資料館に保存・展示されている物品についての写真と説明文を掲載
東藻琴地区郷土資料台帳	・東藻琴ふるさと資料館に保存・展示されている物品についての写真と説明文を掲載
大空町郷土資料台帳	・女満別地区郷土資料台帳と東藻琴地区郷土資料台帳に掲載されている物品の内から重複しているものを除き全町分を1冊にまとめて掲載

8 平成24年度教育関係予算の最終状況

平成24年度教育関係の最終予算は、1,229,929千円で、一般会計総予算の約14%を占めている。

(千円)

項 及 び 目	予 算 額	項 及 び 目	予 算 額
【民生費】	46,964	5 幼稚園費	58,717
2 児童福祉費	46,964	(1) 幼稚園費	58,717
(3) 保育所費	46,964	6 社会教育費	104,435
【教育費】	1,182,965	(1) 社会教育総務費	40,377
1 教育総務費	138,532	(2) 青少年教育費	4,454
(1) 教育委員会費	1,726	(3) 芸術文化振興費	2,662
(2) 事務局費	126,786	(4) 図書館費	38,354
(3) 奨学金	56	(5) 社会教育施設費	18,588
(4) 教員住宅費	9,964	7 保健体育費	176,385
2 小学校費	210,568	(1) 保健体育総務費	7,275
(1) 学校管理費	56,111	(2) 体育施設費	56,783
(2) 教育振興費	12,067	(3) 給食センター費	112,327
(3) 学校建設費	142,390	計	1,229,929
3 中学校費	430,621		
(1) 学校管理費	328,476		
(2) 教育振興費	10,225		
(3) スクールバス運行費	91,920		
4 高等学校費	63,707		
(1) 定時制高等学校管理費	35,526		
(2) 教育振興費	8,029		
(3) 高等学校実習費	13,566		
(4) 寄宿舎費	6,586		

9 平成24年度教育関係予算の主な事業に係る最終予算

事業名	事業費(千円)	主な事業内容
児童福祉費		
◇豊住保育園管理運営事業	32,659	・保育園運営費
◇東藻琴保育園管理運営費	13,039	・保育園運営費
◇保育所広域入所事業	1,176	・他市町村保育所に入所委託
◇託児通所助成事業	90	・託児通所へ一部助成
教育総務費		
◇教育委員会費	1,726	・教育委員の活動
◇事務局費	126,792	・女満別高等学校振興協議会活動への補助 ・中体連等への補助 ・学校教育研究会への補助 ・網走東学区高等教育機関への通学費等の経費助成 ・芸術文化鑑賞、ファームスクール ・高等学校制服購入費補助 ・学校教育施設建設基金積立金 ・高等学校生徒寄宿受入に対する補助 ・女満別高等学校生徒寄宿舎建設
◇奨学金貸付事業	56	・経済的に就学困難な者に対する学資貸付 ・入学資金利子等助成
◇教員住宅費	9,964	・教員住宅管理費
小学校費		
◇女満別小学校管理運営事業	24,106	・小学校運営費
◇豊住小学校管理運営事業	10,976	・小学校運営費
◇東藻琴小学校管理運営事業	21,027	・小学校運営費
◇小学校教育振興事業	6,453	・要保護・準要保護世帯及び特別支援教育を要する児童世帯への就学援助 ・英語活動の推進
◇女満別小学校教育振興事業	3,037	・教科用、実験実習用教材文具等の整備
◇豊住小学校教育振興事業	889	・教科用、実験実習用教材文具等の整備
◇東藻琴小学校教育振興事業	1,688	・教科用、実験実習用教材文具等の整備
◇女満別小学校改築事業	142,390	・旧校舎解体、一部外構
中学校費		
◇女満別中学校管理運営事業	24,152	・中学校運営費
◇東藻琴中学校管理運営事業	12,766	・中学校運営費
◇中学校教育振興事業	2,429	・要保護・準要保護世帯及び特別支援教育を要する生徒世帯への就学援助
◇女満別中学校教育振興事業	4,329	・教科用、実験実習用教材文具等の整備
◇東藻琴中学校教育振興事業	3,069	・教科用、実験実習用教材文具等の整備

◇東藻琴中学校大規模改修事業	291,176	・校舎外壁・サッシ・屋根・暖房改修 ・キュービクル改修
◇語学指導外国青年誘致事業	482	・語学指導助手による語学指導経費
◇スクールバス運行事業	91,920	・スクールバス運営費 ・スクールバス更新(1台)
高等学校費		
◇東藻琴高等学校管理事業	35,526	・高等学校運営費
◇東藻琴高等学校教育振興事業	8,029	・研修・活動補助費 ・高校教育振興基金積立金
◇東藻琴高等学校実習事業	13,566	・実習運営費
◇東藻琴高等学校寄宿舎管理事業	6,586	・寄宿舎管理運営費
幼稚園費		
◇女満別幼稚園管理運営事業	35,914	・幼稚園運営経費
◇東藻琴幼稚園管理運営事業	22,803	・幼稚園運営経費
社会教育費		
◇生涯学習推進事業	8,459	・教育文化合宿、各種講座 ・女性教育振興 ・高齢者教育振興 ・子育て支援活動
◇社会教育行政運営事業	510	・社会教育委員の活動
◇青少年育成協会補助事業	31,203	・大空町青少年育成協会への補助金
◇青少年教育振興事業	1,798	・青少年合宿、各種研修会参加、 ・子ども会活動及び少年教育活動への補助 ・子ども放課後週末活動支援
◇姉妹都市・友好町交流事業	2,031	・稲城市及び氷川町との教育交流
◇青年教育振興事業	409	・成人式 ・青年団体協議会活動への支援
◇青少年健全育成運営事業	421	・青少年健全育成指導員の活動
◇芸術文化振興事業	2,662	・町民文化祭(文化展及び芸能祭)への活動支援 ・文化団体協議会への活動支援 ・文化財保全活動 ・文化財保護審議会委員の活動
施設管理費		
◇伝承館管理運営事業	2,123	・指定管理委託
◇生涯学習センター管理運営事業	3,487	・清掃委託 他
◇体育施設一般管理事業	6,097	・清掃委託 他
◇農村環境改善センター管理運営事業	10,333	・指定管理委託
◇体育施設管理運営事業	7,908	・武道館、屋外ゲートボール場、すばーく、艇庫、 スキー場、歩くスキー、多目的運動広場
◇ふるさと資料館施設管理事業	167	・施設管理
◇山園ふるさとセンター施設管理事業	467	・施設管理

◇研修会館管理運営事業	12,044	・指定管理委託
◇図書館管理運営事業	38,354	・指定管理委託 ・図書、備品等整備、運営協議会委員の活動
◇ゲートボールセンター管理運営事業	6,812	・指定管理委託
◇社会教育施設整備事業	300	・各種社会教育施設整備
保健体育費		
◇保健体育総務事業	7,026	・スポーツ推進委員報酬 ・学校開放事業、スポーツ活動 ・体育協会への活動支援 ・スポーツ少年団への活動支援 ・マラソン大会実行委員会への活動支援 ・ウインタースポーツ実行委員会への補助 ・総合型地域スポーツクラブ支援 ・上部大会への出場経費補助
◇B & G 海洋センター管理運営事業	35,459	・指定管理委託 ・海洋クラブへの活動支援 ・体験クルーズ参加支援
◇女満別給食センター管理運営事業	78,414	・給食調理業務委託料 ・学校給食運営委員報酬 ・給食車の更新
◇東藻琴給食センター管理運営事業	33,632	・給食調理業務委託料 ・学校給食運営員報酬

第2部 学校教育活動に係る反省・評価

1 平成24年度 大空町教育推進方針に係る反省・評価

◇平成24年度大空町教育推進方針は、平成21年度からスタートした「大空町教育推進計画（平成21～28年度）」の実現を目指すべく、計画内容を具体的・重点化して設定したものである。

◇大空町教育推進方針の末尾の括弧内に、「大空町教育推進計画」に示されている基本目標、基本方向、観点の数字を記し、それとの関わりを明らかにしてある。

5段階評定尺度

- | | |
|-----------|-------------------------------|
| 5（大変良かった） | 所期の目的に向けた創意工夫や努力があり、成果を上げた。 |
| 4（良かった） | 若干問題はあったが、所期の目的に向けた実績となった。 |
| 3（普通） | 実施はできたが、問題・課題がある。 |
| 2（良くない） | 所期の目的に一部そった形で実施はできたが問題・課題がある。 |
| 1（大変良くない） | 所期の目的には至らず、今後一層の解決や改善努力がいる。 |

※下の表中の【 】及び（ ）内の数値は5段階の評定尺度に基づき、各幼稚園、各小中高等学校が実施した評価点の平均値である。

平成24年度大空町教育推進方針の反省・評価(学校教育関係分)

1 確かな学力の定着と自立する生き方を育む教育活動の充実を図る(基本目標1～基本方向1, 2)

【3.53】

〈具体的方策〉

(1) 授業改善、児童生徒による授業評価、放課後学習などによりわかる喜びを味わわせ、確かな学力の定着を目指す。(観点1) (3.67)

〈評価〉①毎日の保育反省会議（暮会）において研究課題に沿った次の日の環境作りが組織的に行われた。

②小規模校の特性を生かし、個に対応した学習を展開し、基礎学力を定着させることができた。

③ノート指導について職員間の共通理解を図り、発達段階に応じたノート指導を行うことができた。

④長期休業中の学習会や道教委によるチャレンジテストの取り組みを全学年で実施するとともに、授業での定着を図る場や機会の設定などに取り組むことができた。

⑤学力向上策として、昼休みでの定期テスト対策学習、チャレンジテスト、英検や漢検の実施、家庭学習の習慣化等の取り組みを行っており、昨年度より学力が向上した。今後も粘り強く学力向上対策に努めていきたい。

(2) 家庭と連携し、発達段階に応じた家庭学習習慣の定着を図る。(観点1) (3.29)

〈評価〉①発達段階に応じて家庭学習の取り組みを工夫し、「宿題型」から「自ら考える家庭学習」の取り組みを進め、家庭で自発的に家庭学習に取り組む児童が増えた。

(3) 全国標準学力検査により学習の定着度を検証し、学習意欲の喚起や授業の改善・充実に活かす。(観点1) (3.50)

〈評価〉①全国学力・学習状況調査およびチャレンジテストの結果分析を行い、児童の課題を明確化するとともに授業改善を図った。

(4) コミュニケーション能力の育成を図るため、音読や発表力を重視する。(観点2) (3.71)

〈評価〉①全ての教科においてコミュニケーション能力の向上を意識した授業に取り組んでいる。

(5) 個別の指導計画や個別の教育支援計画の作成など特別支援教育の充実を図る。(観点3)

(3.50)

〈評価〉①町特別支援コーディネーターとの連携を通して、内容の充実と保護者との良好な関係が構築された。

②特別支援園内委員会・校内委員会が機能し、子どものニーズに応じた教育を充実させることができた。

③個別の教育支援計画作成は、依然課題であるが、児童相談所や町福祉課、医療機関など関係機関との連携の機会が増えている。

(6) 各校種におけるキャリア教育に係る学習内容を整理し体系化する。(観点8) (3.50)

〈評価〉①キャリア教育についての研修が不十分であり、教育活動に十分反映されていない。平成25年度に向け職員間の共通理解、研修する場を設け、各教科、領域における学習との連携を図り、体系化していきたい。

2 豊かな心と健やかな体を育む教育活動の充実を図る。(基本目標2～基本方向3, 4) 【3.74】

〈具体的方策〉

(1) 道徳の時間の授業公開や基本的な生活習慣や規範意識の醸成など、道徳教育の充実を図る。

(観点10)

(3.14)

〈評価〉①道徳の時間の公開は、複数学級で実施できたが、もっと拡大していきたい。

②道徳教育については、前年度までの取り組みを維持・継続できなかつたので、改めて職員の共通理解を図り、道徳の時間を中核に、各教科、領域と連携を図りながら道徳教育の充実を図っていきたい。

③道徳の時間を要とした「全教育活動」を通して、善悪の判断ができ正しいことがあたり前にでき、思いやりをもち他の人たちと接することができるなど「豊かな心」を一層育むよう、全教職員の知恵を出し合い努力していきたい。

(2) 町の図書館との連携により児童生徒の読書量の増進を図る(観点11)

(4.00)

〈評価〉①本年度より導入された町図書館司書と連携し、図書コーナーの環境整備・充実、朝の全校読み聞かせ等読書活動の幅が広がった。また、古書の廃棄や読書環境の整備が進められた。

②読書環境が見違えるほど改善され、本に対する興味を持つ児童・生徒が増えた。

(3) いじめや不登校などの問題行動の未然防止・早期解決に努める。(観点13)

(4.14)

〈評価〉①いじめアンケートの定期的な実施や個別対応を速やかに行うとともに、学校全体の問題として捉え情報を共有しながら児童の問題行動の未然防止、早期解決に努めた。

②いじめや問題行動の発生時には、保護者や関係機関との連携を重視している。

(4) 学校における遊びや体育の充実及び家庭における運動の奨励により、子ども達の体力づくりを

推進する。(観点14)

(3.88)

〈評価〉①体力テストの結果分析を行い、児童の特性を把握し体育の授業改善、休み時間等の児童の遊びへの働きかけ等体力向上を目指した。

②部活動等体力づくりを積極的に推進している。

(5) 学校・家庭・地域と連携して「早寝・早起き・朝ごはん」など、子ども達の基本的な生活習慣（生活リズム）の確立に努める。(観点15,25) (3.63)

〈評価〉①幼児期の基本的な生活習慣の育成に向けて、幼児の実態把握と分かりやすい指導に努めた。

②学校と家庭が連携して、豊かな心を育む土壌づくりを進めるためにも情報発信に努め、課題を共有できるようにしなければならない。

③家庭での生活リズムについては、90%以上の児童が良いと考えているが、一部の児童や家庭に問題があり、常に児童の様子を見て指導している。

(6) 防災教育の充実を図る。(観点17) (3.63)

〈評価〉①防災教育にあたっては、東日本大震災の教訓について校長講話や学級担任からの指導等、あらゆる機会を通じて適切な行動が取れるように指導している。

3 信頼に応える学校づくりを推進する。(基本目標3～基本方向5, 6) 【3.83】

〈具体的方策〉

(1) 学校評価(自己評価・児童生徒評価・学校関係者評価など)をもとに学校改善を図るとともに、結果の公表により開かれた学校づくりを推進する。(観点18) (4.25)

〈評価〉①学校評価を基に課題と改善点を明確にし、学校経営に活かすことができた。

②学校評価の充実を図りながら、学校経営における「検証改善」を行い、家庭や地域に対し説明責任と経営責任を果たし、信頼感を得るよう一層努力したい。

(2) 幼稚園・保育所と小学校、小学校と中学校の接続をスムーズに行うための方策の研究に着手するとともに、異年齢の子ども達の経験を広めるため、幼・小・中・高校間及び同校種間の連携や交流を推進する。(観点19) (3.50)

〈評価〉①各種学校間交流では、事前の打ち合わせが確実に行われ、内容の充実が図られた。

②就学にかかわり、町の特別支援コーディネーター・小学校特別支援担当教諭と協力し、スムーズな連携を図ることに努めた。

③異校種間の連携が不十分であったので、スムーズな接続を目指し改善を図りたい。

(3) 学校教育指導を生きたものとするため、授業公開や全体協議の充実を図る。(観点21, 22) (3.88)

〈評価〉①学校教育指導では、特設の授業公開と全体協議が課題である。

(4) 大空町学校教育研究会の活動などを通して、学校間における授業交流(公開研究会)や教職員の交流を推進する。(観点22) (3.75)

〈評価〉①今年度は、各学年2回の交流学习等に取り組んだ。平成25年度に向け課題を整理し、児童の交流を活発にしていきたい。

(5) 授業研究を中核に据えた校内外研修の改善・充実を図る。(観点21) (3.75)

〈評価〉①小・中連携を意識した外国語教育研修会を開催し、外国語活動の充実に努めた。

4 地域全体で子どもを守り育てる体制づくりを推進する。(基本目標4～基本方向7, 8) 【3.94】

〈具体的方策〉

- (1) 預かり保育に係る教育課程を充実する。(観点26) (4.50)
〈評価〉①日常の保育活動と預かりの保育活動のつながりを確かにするように努めた。
- (2) 幼保の連携を図り、一元化体制の充実と将来の方向性を検討する。(観点26) (3.50)
〈評価〉①保育園との連携が以前よりもスムーズになった。
- (3) 就学前の親子に対する子育て支援開放事業を充実する。(観点27) (4.00)
〈評価〉①子育て支援園開放を通して、幼稚園を理解してもらう機会としている。
- (4) PTAや関係機関と連携して児童生徒の安心・安全な環境づくりを推進する。(観点30)(3.71)
〈評価〉①PTAの協力で、「不審者警戒巡視」の活動が展開され、子どもの安全を守る活動を推進することができた。今後とも継続して協力して頂けるよう呼びかけていきたい。
②PTAや各種関係機関とは積極的に連携強化を図りつつあり、成果も出てきているが、さらに一層の連携強化を図りたい。
- (5) 地域の自然や人材、施設を積極的に活用し、地域に開かれた学校運営を推進する。(観点29) (4.00)
〈評価〉①放課後や休日に子どもたちが安心して過ごせる『めっちゃいんど館』など、施設と人的配置においても十分配慮がされている。
②大空町学校支援地域本部事業を活用し、地域の人材や施設を活用した授業を行うことが地域に開かれた学校運営の一助となった。

2 各幼稚園、各小中高等学校における反省・評価

各幼稚園、各小中高等学校における教育活動は、それぞれの園や学校で策定している学校（幼稚園）経営計画及び教育課程に基づき展開されている。

また、各幼稚園、各小中高等学校においては、年度末に「大空町学校評価システム」に基づいた学校評価（教職員による評価、児童生徒による評価、保護者等学校関係者による評価）を実施し、その結果に基づき次年度に向けた改善がなされている。

各幼稚園、各小中高等学校からは、年度末に学校評価結果が報告書として提出されているので、ここでの報告は割愛する。

第3部 社会教育活動に係る反省・評価

〈評価の仕方〉

5段階評定尺度

- | | |
|-----------|-------------------------------|
| 5（大変良かった） | 所期の目的に向けた創意工夫や努力があり、成果を上げた。 |
| 4（良かった） | 若干問題はあったが、所期の目的に向けた実績となった。 |
| 3（普通） | 実施はできたが、問題・課題がある。 |
| 2（良くない） | 所期の目的に一部そった形で実施はできたが問題・課題がある。 |
| 1（大変良くない） | 所期の目的には至らず、今後一層の解決や改善努力がいる。 |

*下の表中の【 】内の数値は、5段階の評定尺度にもとづいて実施した（ ）内の評価点の平均値である。

1 平成24年度大空町教育推進方針に係る反省・評価

平成24年度大空町教育推進方針は、平成21年度からスタートした「大空町教育推進計画（平成21～28年度）」の実現を目指すべく、計画内容を具体化・重点化して設定したものである。

大空町教育推進方針の末尾の括弧内に、「大空町教育推進計画」に示されている基本目標、基本方向、観点の数字を記し、それとの係わりを明らかにしてある。

平成24年度大空町教育推進方針の反省・評価（社会教育関係分）

1 地域全体で子どもを守り育てる環境づくりを推進する。（基本目標4～基本方向7, 8） 【3.45】

〈具体的方策〉

- ① 家庭や地域の教育力の向上を目指し事業の充実を図る。（観点25, 29） (3.69)
- ② 体験や研修を通し、自然や地域について学ぶ機会の充実を図り、一層の連携し交流を促進する。（観点28） (3.37)
- ③ 様々な活動に協力いただける指導者やボランティア体制の推進を図る。（観点29, 32） (3.57)
- ④ 大空町青少年健全育成町民会議を中核として関係組織間の連携強化を図る。（観点28, 30） (3.37)
- ⑤ 「子ども110番の家」の見直しを行い、子どもを守り育てる環境づくりに努める。（観点30） (3.25)

〈総括的な反省・評価〉

- ① 姉妹都市、友好町交流事業について実施から長年経過したことから、事業の在り方について実行委員会等と協議重ねることができた。今後も、児童生徒間交流や体験活動の充実等、子どもたちの有意義な研修のため実行委員会と協力して進めていく必要がある。
- ② 青少年健全育成指導員により、危険個所の把握に努めることができ、今後も通学路の危険個所の把握と子ども110番の家の発掘に努めることとする。

2 豊かな学びをつくる生涯学習及び学校・地域社会と連携した社会教育活動を推進する。

（基本目標5～基本方向9, 10）

【3.54】

〈具体的方策〉

- ① 多様な学習ニーズや各種事業に対する意見・要望等を把握し、主体的な学習や学習成果の活用

に活かす。

(観点31) (3.18)

② 両地区で行われてきた各種事業や団体活動等の課題を整理し、全町的な視点からの解決を探る。

(観点33) (3.22)

③ 社会教育施設の適正な維持管理及び計画的な整備充実を図る。(観点35) (4.00)

④ 読書活動及び図書館活動の推進のための環境づくりに努める。(観点11,34) (3.75)

〈総括的な反省・評価〉

① 生涯学習奨励員の企画・PRにより講演会を実施することができた。今後も地域づくりを考える人々の交流の場づくりも考えていく必要がある。また、町民に発信できる趣味講座等の充実にも努める必要がある。

② 両地区統合を早い段階でしている団体(子ども会、文化団体、自治会女性部)においては、役員の分担や事業の割り振り等が固まりつつある。今後は、自主自立を促しながら継続して支援していく必要がある。

③ 平成25年度からスタートする「大空町図書館第2期5カ年計画」及び「第2次大空町子どもの読書活動推進計画」を策定することができた。

3 芸術・文化・スポーツ活動を推進する。(基本目標5～基本方向11,12) 【3.34】

〈具体的方策〉

① 両地区の歴史や文化等を知るための事業を展開する。(観点36) (3.00)

② 郷土資料・遺跡巡りなど、住民が主体となる事業を展開する。(観点36) (3.00)

③ 地域住民や民間組織が、芸術・文化活動に自主的・主体的に係わることのできる仕組みづくりを推進する。(観点37) (3.50)

④ 地域住民が気軽にスポーツ活動に親しみ、参加できる機会や場を提供する。(観点39) (3.21)

⑤ 社会体育施設の計画的な整備を図る。(観点41) (4.00)

〈総括的な反省・評価〉

① 町民芸能祭が地区毎に開催されているが、出演者の交流はもとより、観客についても今まで以上に両地区の交流が図られた。

② スポーツ教室等の開催スケジュールについては、早いうちから町民へ周知する体制をとる必要がある。

③ 多くの町民が参加できる、町民参加型の事業環境等の体制づくりが必要である。

④ 総合型スポーツクラブは現在豊住地区のみの活動となっており、他の地区においても設立に向けた啓発等の取組が必要である。

2 平成24年度社会教育推進計画に係る反省・評価

大空町教育推進計画の具現化を目指して平成24年度社会教育推進計画を作成している。下記の枠内で示すように大きく5つの領域で事業を構成し推進している。

- | | |
|----------------|---------------------------|
| ① 生涯学習推進事業 | ～ 6つの大事業・15の中事業・その他小事業で構成 |
| ② 家庭教育・子育て支援事業 | ～ 2つの大事業・5つの中事業・その他小事業で構成 |
| ③ 青少年健全育成事業 | ～ 3つの大事業・7の中事業・その他小事業で構成 |
| ④ 芸術文化振興事業 | ～ 2つの大事業・6つの中事業・その他小事業で構成 |
| ⑤ 保健体育振興事業 | ～ 2つの大事業・8つの中事業・その他小事業で構成 |

◇本計画の位置づけ

大空町教育推進計画に基づく、平成24年度に実施する各事業をA（目的やねらい）・P（計画）・D（実施）・S（評価）・I（改善）のマネジメントサイクルの段階ごとに体系的に区分し、事業推進の指標として位置づける。

◇評価の活用

平成24年度の実績・評価の結果明らかにされた改善点等を次年度の推進計画の策定に反映させる。

平成24年度の実績・評価結果の概要

◇各事業内容の詳細については「平成24年度大空町教育経営計画書『大空町の教育』」をご参照ください。

☆表中、総合判定《 》の数字は事業の総合的な評価ですが、これは各〔 〕内の数字の平均点です。

〔 〕の数字は、大事業〔1、2・・・〕の評価ですが、これは各〈 〉内の数字の平均点です。

〈 〉の数字は、中事業〔(1)、(2)・・・〕の評価ですが、これは各（ ）内の数字の平均点です。

（ ）の数字は、小事業〔①、②・・・〕の評価です。

1 生涯学習推進事業 総合判定 《3.15》

〔基本方向9 豊かな学びをつくる生涯学習の推進〕

〔基本方向10 学校・地域社会と連携した社会教育活動の推進〕

1 成人教育(講座) 〔町民の自主的な学習活動を支援する〕〔3.40〕

(1) 大空町民大学 〈3.00〉

(2) 公民館講座・生涯学習講座 〈3.80〉

①定年後の地域参加支援講座 (4) ②女満別湿生植物群落現地学習会及び報告会 (3) ③考古学教室出前講座 (4)

④東藻琴高等学校連携講座 (4) ⑤プリザーブドフラワーアレンジ講座 (4)

《総括的な反省・評価》

① 生涯学習奨励員が企画し、生涯学習講演会を開催し、PRなど工夫し沢山の方に聞いて頂くことができた。

② 次年度以降も創年を対象とした講座を実施する必要がある、地域づくりを考える人々の交流の場づくりも合わせて考える必要がある。

③ 北海道埋蔵文化財センターの事業を活用して実施することができた。貴重な遺跡等を広く町民に知ってもらうためにも同様の事業を実施する必要がある。

④ 東藻琴高等学校が地域との交流を図りたいとの思いから、生涯学習講座として実施したところ、高校の技術を地域に還元するとともに地域と生徒の交流にもなった。実施して行くうえでPR方法についても検討する必要がある。

⑤ 新しいジャンルのフラワーアレンジを町民に提供することを目的に実施した。今後も町民に発信できる趣味講座等の充実に努める必要がある。

2 高齢者教育〔高齢者が自ら学び、心豊かで健康に過ごし、社会参加できる活動を支援する〕〔3.00〕

- (1) 大空町ことぶき大学〈3.00〉
- (2) 高齢者リーダー養成事業〈3.00〉

《総括的な反省・評価》

- ① 授業や活動を通しての「教養」や「能力」の修得の場、参加による「出会い」や「交流」の場として大きな役割を担ってきた。高齢者をめぐる社会環境が変化してきており、魅力あるプログラム作成と自ら運営に参画できる内容にしていく必要がある。
- ② 網走市で開催されたリーダー研修では、役員が参加し誰にでも訪れる老いと上手く付き合っていく術と、足を上げて歩くことの重要性を学び参考となる内容であった。

3 各種団体育成(事業)〔各種団体の主体的な学習や積極的な地域活動を支援し育成する〕〔3.75〕

- (1) 女性団体育成事業〈3.25〉
 - ①女性団体への支援(3)
 - ②大空町女性のつどい(3)
 - ③友愛セール&フリーマーケット(3)
 - ④大空町女性研修(4)
- (2) P T A 育成事業〈4.00〉
- (3) 教育文化合宿誘致事業〈4.00〉

《総括的な反省・評価》

- ① 女性部の活動を住民に意識付けする事業の展開を検討する必要がある。また、会員ニーズを把握しながら事業の実施も必要である。
- ② 本年度大空町当番で実施したP T A 網走東部地区研修会は、クラウンとして活躍している大棟耕介氏を招いての講演が実施され、コミュニケーションの大切さを大道芸を交えたユーモア溢れる内容で大変好評であった。
- ③ バスケットボール合宿については、チーム数や滞在日数が減っている状況にあり長年続いてきた合宿を誘致して行くための対策が必要と思われる。玉川学園オーケストラ部により学校訪問演奏の申し入れがあったことから、関連する玉川大学合宿誘致実行委員会と教育委員会が連携して町内の小中学校訪問演奏事業を実施し、素晴らしい演奏で好評であった。

4 学社連携(融合)・人材育成(事業)〔各種講座の開設を通して、町民の学習活動を充実する〕〔2.50〕

- (1) 姉妹都市・友好町交流事業〈3.00〉
 - ①稲城市児童交流(3)
 - ②氷川町生徒交流(3)
- (2) 人材バンクの設置〈2.00〉

《総括的な反省・評価》

- ① 稲城市児童交流は、参加者が減少傾向にあるため交流意識を高めて行く必要がある。また、東藻琴地区の保護者から同地区の児童も参加させて欲しいとの要望が寄せられているため、同地区のP T A と協議しながら検討し、参加者の増を図りたい。
- ② 夏休み中に実施するため、訪問と受入が錯綜し非常にタイトなスケジュールとなっている。また、大変暑い時期の開催ということもあり、体調管理などの問題もあることから、時期をずらすなどの検討も必要と思われる。
- ③ 各種事業等において地域の人材活用を図った。なお、人材バンク登録者の整理及び活用方法について検討も必要である。

5 図書館活動 [町民の読書活動や学習活動の促進に努める] [3. 75] . . . 指定管理者への委託事業

- (1) 図書館活動への支援 (4.00)
- (2) 図書館協議会の開催 (3.00)
- (3) ボランティア活動への支援 (4.00)
- (4) 読書普及及び利用促進活動 (4.00)

《総括的な反省・評価》

- ① 北海道教育委員会の事業を活用した読書活動定着推進事業を実施した。講師も大変読書活動に精通しており好評であった。参加者からこのような研修機会を続けて実施して欲しい旨の要望があった。
- ② 平成25年度からスタートする、大空町図書館の第2期5ヵ年計画、第2次大空町子どもの読書推進計画策定に向け審議を行なうことができた。
- ③ 図書館ボランティアは、図書館にとって重要な役割を担っている。今後もボランティアに対する支援を継続していく必要がある。女満別図書館友の会による講座も実施された。
- ④ 指定管理者により図書館の利用促進に繋がる自主事業が多数実施されており、今後も読書推進に繋がる事業を継続していけるよう支援する。また、学校教育分野で学校図書館の充実のために司書を巡回させているが、連携した事業展開を視野に入れて支援する必要がある。

6 生涯学習啓発(事業) [町民の学習意欲を喚起するため、情報発信と相談活動を充実する] [2. 50]

- (1) 生涯学習広報誌の発行 (3.00)
- (2) 生涯学習相談 (2.00)

《総括的な反省・評価》

- ① 生涯学習事業のPR中心の情報提供となっている。また、紙面の都合上、生涯学習に関する情報が纏まっていないため、生涯学習への意識啓発およびPRが弱い状況であることから検討する必要がある。
- ② 事務所に来庁した方への対応体制は整っているものの、周知等の対応の方法について検討する必要がある。

2 家庭教育・子育て支援事業 総合判定《3. 33》

[基本方向7 家庭の教育力の向上や幼児教育の充実]

1 家庭教育・子育て支援(事業) [行政、関係機関等が連携して、学習資源や情報のネットワーク化に努める]

[3. 67]

- (1) 家庭教育支援基盤形成事業 (3.67)
 - ①家庭教育支援チームの設置(4) ②子育てサポーターリーダーの養成(4) ③子育て・親育ち講座の実施(3)
- (2) 子育て機能強化推進事業 (3.00)
- (3) 家庭教育相談事業(家庭教育相談員の配置) (4.00)
- (4) 子育て支援ネットワーク充実事業 (4.00)

《総括的な反省・評価》

- ① 子育て支援講座に参加した親たちの仲間づくりの場から、自主的な学習活動へつながるような事業展開の取り組みも必要である。
- ② 参加したくても参加できない親や興味・関心のない親にも取組を知ってもらうため、積極的に情報を発信していく必要がある。
- ③ 幼稚園教諭、児童クラブ指導員との子育てに関する更なる情報共有を図る必要がある。

- ④ 人間関係の希薄化や核家族化等により、家庭教育力の低下を招いている昨今、子育てに関する相談業務や子育て支援講座を通し、子育てに関する細かなアドバイスが必要となっている。また、家庭の教育力向上の見地から子育てを支援する関係各課との連携強化に努める必要がある。

2 家庭教育・子育て支援情報の発信 【町民の読書活動や学習活動の促進に努める】〔3. 00〕

- (1) 各種支援情報の発信 〈3.00〉

《総括的な反省・評価》

- ① 各種講座及び広報媒体を活用した周知をしているが、活用が図られていない状況にあるため、一層の活用方策を検討する必要がある。

3 青少年健全育成事業 総合判定《3. 54》

〔基本方向8 地域で子どもを守り育てる環境づくりの推進〕

1 少年社会体験活動 【少年少女の健全育成を願い、各種の社会体験活動やリーダー育成に努める】

〔3. 63〕

- (1) 放課後子どもプラン推進事業（放課後子ども教室） 〈4.00〉

- (2) 子ども会活動支援 〈3.25〉

- ①子ども会への支援(3) ②子ども七夕まつり(3) ③子ども会ミニ運動会(4) ④ジュニアリーダー研修会(3)

《総括的な反省・評価》

- ① 両地区の現状を踏まえ、それぞれの地区にあった放課後子どもプラン推進事業を展開してきた。今後も、福祉部局の子育て支援センターや児童センター事業と連携し活動して行くことが必要であるとともに、両地区のスタッフや他部局スタッフ、事業協力団体との協議の場を設け、現場の意見を事業に反映させていく必要がある。また、当事業に協力して頂けるスタッフの人材育成・発掘が必要である。
- ② 子どもたちが多く集まる事業を自主運営により両地区で開催しているため、今後も支援していく必要がある。
- ③ 子どもの数の減少により、単位会としての活動できる子ども会が少なくなり、子ども会育成連絡協議会が主体的に子どもを掌握して行っている。子どもミニ運動会開催に伴い、冬場の体力づくり・異年齢の交流を深めることができている。
- ④ リーダー研修会の実施にあたって、グループワークなど仲間とともに自分たちで考えながら取り組む事業を取り入れたことにより、責任感の大切さを指導することができた。また、団体生活をとおして異世代間の交流が図られた。

2 青年社会体験活動 【青年の健全育成を願い、各種の社会体験活動やリーダー育成に努める】〔4. 00〕

- (1) 成人式 〈4.00〉

- (2) 青年団体への支援 〈4.00〉

《総括的な反省・評価》

- ① 成人の日が1月14日と遅かったことから、対象者の帰省等を考慮し6日に実施したが、参加率は例年と変わらなかった。アトラクションの内容については、自己紹介とビデオレターを実施しているが、自己紹介が嫌な成人がいたりビデオレターは大変という先生の見解があるため検討する。
- ② 大空町の青年団が中心となって網走管内の事業の仕組みを改善することができた。今後は平成24年度に培った知識と経験を、地元の青年団に属していない人や他団体に波及させられるように指導を行なう。

3 青少年健全育成活動〔青年の健全育成を願い、補導・指導活動や団体との連携活動及び相談事業を行う〕

〔3. 00〕

- (1) 補導・指導活動 〈3.00〉
- (2) 各種団体活動への支援・指導 〈3.00〉
- (3) 各種育成団体との連携 〈3.00〉

《総括的な反省・評価》

- ① 青少年健全育成のため関係機関等との連携した取組について、今後も継続した取組が必要である。街灯や看板の設置状況、危険箇所の洗い出しが必要である。
- ② 青少年の取巻く環境は日々変化しており引き続き問題等について協議する必要がある。
- ③ 顕彰該当者の漏れがないよう周知と情報の共有が重要である。また、青少年を取巻く団体の更なる事業展開を検討して行く必要がある。

4 芸術・文化振興事業 総合判定 《3. 38》

〔基本方針11 芸術・文化活動の推進・充実〕

1 芸術・文化振興(事業) 〔町民の文化活動への参加及び芸術文化鑑賞の拡大を図る〕〔3. 50〕

- (1) 町民文化祭 〈3.00〉
- (2) 文化団体への支援活動 〈4.00〉

《総括的な反省・評価》

- ① 展示部門においては、東藻琴・女満別同日開催としたが大きな混乱は無かった。また、芸能発表部門については両地区の交流を推進し、地域の活性化を図る観点からも有益な事業であると考えられる。内容については、いろいろとアイデアを出しているものの出展団体や個人が減っている状況にあるため、出展者の発掘及び文化展出展のPRを強化する必要がある。
- ② 大空町文化団体協議会の数多くの事業に支援することができた。今後も大空町の文化振興のためにより緊密な連携による事業の展開が必要である。

2 文化財等保護・管理活動 〔文化財保護・管理のため調査及び普及活動に努める〕〔3. 25〕

- (1) 文化財保護管理事業 〈2.00〉
- (2) 文化財調査研究審議事業 〈3.00〉
- (3) 文化財調査事業 〈4.00〉
- (4) 団体活動への支援・指導 〈4.00〉

《総括的な反省・評価》

- ① 町が所有する郷土資料について台帳整理はされているが、ただ置かれているだけで効果的な活用には至っていない。今後は、町民に郷土の資料を知ってもらうため、郷土資料を目にすることができる環境づくりを検討する必要がある。
- ② 両地区にある文化的価値のある財産について、どのような財産を後世へ受け継ぐことが望ましいのか検討調整する必要がある。
- ③ 湿生植物群落の現状を1年を通じて水質や土壌について調べ把握し、保全に向けた取組を行なうための提言をいただいたが、国等への要望のためには更に詳細なデータが必要なことから調査を実施する。
- ④ 活動団体が大空町の歴史文化研究を進め、女満別の碑写真集を作成した。記念碑など設置を検討しているが、町全体の取組となるよう行政と連携を密にして進める必要がある。

5 保健体育振興事業 総合判定 《3. 61》

〔基本方針12 活動の振興に努める健康づくりやスポーツ活動の推進〕

1 社会体育振興(事業)〔各種大会や教室、講座等の開催を通じて町民の健康増進とスポーツに対する関心・意欲を喚起する〕 〔3. 22〕

- (1) 町民スポーツ大会 〈3.00〉
 - ①第7回町民ソフトボール大会(3) ②第7回町民ミニバレーボール大会(3)
 - ③第7回300歳交歓バレーボール大会(3) ④スポーツ縁日(3)
- (2) 少年少女スポーツ大会 〈3.00〉
 - ①少年少女水上運動会(3)
- (3) その他スポーツ大会 〈3.40〉
 - ①ジェットラインさわやかマラソン大会(4) ②もところ山ふきおろしマラソン大会(4) ③東北海道6人制バレーボール選手権大会(3) ④B&G会長杯武道場落成記念剣道大会(3) ⑤女子バレーボール大会(3)
- (4) スポーツ教室開設事業 〈3.13〉

《少年少女スポーツ教室》 〈3.50〉

 - ①少年少女水泳教室(4) ②スキー教室(3)

《一般成人スポーツ教室》 〈3.00〉

 - ①水中エアロビクス教室(3) ②水中運動教室(3) ③やさしい水中運動教室(3)
 - ④アクアエクササイズ教室(3) ⑤ボディメイクストレッチ教室(3) ⑥アクアウオーキング教室(3)

《中高年スポーツ教室》 〈3.00〉

 - ①生き活き教室(3)

《全町民対象スポーツ教室》 〈3.00〉

 - ①スポーツ体験教室(ユニホック・卓球教室)(3)
- (5) スポーツ大会派遣事業 〈3.00〉
 - ①B&G全道剣道スポーツ大会(3) ②B&G全道水泳スポーツ大会(一)
- (6) 総合型地域スポーツクラブ支援事業 〈4.00〉
- (7) スポーツ振興団体の育成 〈3.00〉
 - ①体育協会育成(3) ②スポーツ少年団育成(3) ③その他団体育成(3)

《総括的な反省・評価》

- ① 町民スポーツ大会については、参加チームが固定化の傾向であり、自治会の合同出場や事業所単位の出場など大会によって参加の枠組みの緩和を行なってきたが、今後も、参加しやすい条件を検討する必要がある。ソフトボール大会では、今年度から自治会対抗ホームラン競争を実施し自治会間の交流を図った。
- ② スポーツ縁日は、地元の団体の協力を得ることができているが、参加者が減ってきており開催時期や内容について再考する必要がある、他事業との関連を持たせ参加者の間口を広げることも検討する。
- ③ 少年少女水上運動会は、今までの反省を基に開催日程や競技内容を検討しているが参加者の増加には至っていない。小学生の少年団等の活動が盛んなことが要因と思われるが、プールでの記録会や運動会に抵抗がある子どもも増えている。プールのイベントとした新しい事業展開を視野に入れる必要がある。
- ④ ジェットラインさわやかマラソン大会の課題であった路上コースの安全面については、新聞折込での住民周知やレンタカー会社へのお知らせにより改善が図られている。女満別小学校が学校参加ではなく自由参加となったが、大会には先生方によるボランティアでの協力をいただいた。今後も運営がスムーズに進むよう運営体制を再検討する必要がある。
- ⑤ もこと山ふきおろしマラソン大会は、ICチップによる計測法を取り入れたことによってスムーズな大会運営を行なうことができた。次年度は30回の記念大会となるため、大空町全体で盛り上げていける大会となるよう

検討が必要である。

- ⑥ 東北海道6人制バレーボール大会は、バレーボール協会が率先して開催している状況であり官民の連携が図られている。バレーボールの町として位置付ける貴重な大会であり、今後継続のため、協会の若手育成が重要となる。また、年々参加チームが減少してきていることから参加チームの募集について検討する必要がある。
- ⑦ 一般成人スポーツ教室では、参加者の減少が目立つことから、幅広い年代の参加と参加しやすい時間の開催も含め周知の方法等を検討する必要がある。参加者のほとんどが女性であることから、男性の参加も積極的に呼び掛けることが必要である。
- ⑧ 全町民対象スポーツ教室では、卓球協会とともに「いきいき卓球教室」を開催し、冬季間の運動不足解消と様々な人とのふれあいの場を提供することができた。次年度以降は、町内団体と連携を行なうほか、計画的に年間を通してのスポーツ教室の実施が必要である。
- ⑨ スポーツ大会派遣事業のB&G全道スポーツ大会の剣道の部においては、全道レベルの大会に参加し高度な技術の会得ができた。全道のセンター15チームが参加しお互いの親睦・交流を図ることができた。
- ⑩ 総合型地域スポーツクラブ支援事業では、現在豊住地区のみの活動であるが、他の地域へのスポーツの普及もできるよう検討を行ない、他の地域にクラブ設立を行なえるよう啓発を行なう。
- ⑪ 体育協会及びスポーツ少年団の育成については、平成24年度協会の合併により、両地区の活動が停滞しないよう協会運営に助言を行なう。今後は同一種目団体について合併できるよう働きかける必要がある。

2 スポーツ合宿誘致事業 【大学等の合宿誘致を通して、町民のスポーツに対する関心を喚起する】

[4.00]

(1) バスケットボール合宿 (4.00)

《総括的な反省・評価》

- ① クリニックの開催で参加した子ども達のバスケットボール技術の向上と関心が高まっている。
- ② 厳しい経済状況の中、日体大・成徳大・大産大の誘致を維持しており、今年度はチーム同士のつながりから、名経大を誘致することができた。加えて2高校も合宿を実施した。合宿を行なうことでの経済効果も増えている状況である。道内の自治体においても合宿誘致に力を入れているところが増え、チームに対して補助金を出している地域もある。今後、条件の良い自治体に合宿するチームが流れる懸念もあるため、バスケットに限らず合宿誘致の町への影響力を検証しながら誘致を進める必要がある。

